

基本政策	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	4点満点	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等
					評価		
心豊かに たくましく生きる 神戸の子供を育む	やさしい子 すすんで学ぶ子 元気な子	やさしい子	進んであいさつをする	代表委員や教職員が朝、あいさつ運動を実施。	3.5		よくあいさつをする児童が多い。今後も継続してほしい。代表委員会のあいさつ活動が活発である
			地域・異学年交流の推進	校外児童会や集会で発信した。TVなどのオンラインでの活動が主だった。	3.5	コロナ禍での感染防止対策をこれからも徹底	地域として校外児童会など積極的に参加する。
			係活動や実行委員の推進	行事やクラス・学年のイベント、毎日の係活動など児童が中心となり、みんなのことを考え、企画、実行する。	3.2	学年に応じた取り組みをさらに情報交換することで深めたい。	
		すすんで学ぶ子	ぐんぐんタイム(朝の学習)	継続して漢字・計算学習に取り組む。系統立てた取り組みを進める。	3.5		
			おはよう読書など読書活動の推進	読書活動の継続、読み聞かせや並行読書など言語活動を重視。	3.2	司書と協力し、さらに本に親しみやすい環境を整えたり、本の紹介など読書をすすめてほしい。	平行読書用にたくさんの関係書を用意してくれていた。
			のびっ子タイム・みんなの学習クラブ	放課後学習を継続的に、基礎学力の定着と向上を目指す。家庭学習の1つとしてみんなの学習クラブの紹介。	3	体制づくりの見直し、児童への周知に方法を考える。GIGAスクールの積極的利用	
		元気な子	体育学習の推進	体育の特性に触れ、運動好きの児童や技能の向上に取り組む。	3.5	運動場の整備が急務。滑ってこけて負傷が多い。	
			外遊びの励行、なわとびタイムの実施	外遊びのルールの徹底、朝のなわとびタイムの実施。	3.2	運動場のよりよい使用の方法をさらに再考する。	
			生活、保健、食教育の推進	自分の身体を知り、心や身体の成長について考え、取り組む。生活習慣の見直し。	3	遅刻をする児童がまだまだ多くおり、早寝・早起きなど生活習慣の改善を呼びかける。	こども食堂の周知
		安心・安全で楽しい学校を築き、地域と共に子供を支える	子供同士が関わり合う授業をめざして	みんなが活躍できる授業づくり(低学年)	グループ研修を行い、授業研究の実施。全体授業や公開授業を行い、検討を重ね、よりよい授業づくりを目指す。体育、英語を中心に研修を行う。また、県外での研修に参加した教諭が研修を広めたり、外部から講師を招き、研修を深めたりした。	3.2	今年度、培ったものを財産に来年度、さらに研修を重ね、よりよいものにしたい。また、学校全体として系統立てた指導を研究し、学年に合った指導をより深めたい。子供同士が関わり合う場面を多く作り、友達を認めたり、自分の考えを深めたりする子供をめざしたい。
友達の考えから気付く楽しさを実感できる授業づくり(中学年)							
小集団(ペア・グループ)での関わり合いを効果的に取り入れた授業づくり							
いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に関する取組(いじめ問題対策委員会等)	職員研修、生徒指導委員会の推進、学校、学年の中で情報の共有や連絡、相談を率先して行った。		3.3	教職員一人一人がアンテナを高くもち、子供や保護者に寄り添える学校、教職員であるよう研修を重ねる。			
業務改善に向けた取組	職員会議、部会などの時短やエコデーの実施。スポーツ活動や休日の活動、勤務などの見直し。		2.5	教職員の意識改革の徹底や年間を通しての行事や活動の見直し。毎日の勤務時間の見直しの徹底。	職員の健康を維持する上で、エコデー等を確実に実施する。		
登下校の見守り活動	PTAによる新たな見守り隊の発足。保護者、地域の方々の協力のもとスタートした。腕章の新調。		3.2	さらに保護者、地域に周知し、協力を求めたい。PTA作成の地域安全マップも活用	登下校マナーの周知徹底が急務であると考える。		
ホームページの更新頻度の向上	学校行事、朝会など積極的に更新した。学年の取り組む様子も多く広められた。		3.3	内容にもこだわり、学校の取組、方針など情報を発信する場とした。	学年の取り組みを発信するだけでなく、図書館教育にも力をいれ、地域のセンター的な役割を果たしたい。		